

# ふじみ野

No.67

R4.11.1 発行  
埼玉県ふじみ野市議会

## 市議会だより

### CONTENTS

健全な財政運営と  
新型コロナ対策の継続を 2p

令和3年度決算審査 4p

連載企画 事業者に聞く 11p

市政を問う！一般質問 16人が政策論議 12p



### 働く人シリーズ④6庭師さん

樹木の剪定や植栽だけでなく、庭のデザインから雑草対策まで、生活に身近な植物をいかに美しく見せるかが職人の技。草木の知識、地形や土壌の知識、石の知識、そして何より空間デザインのセンスが問われる仕事です。



新型コロナ自宅療養者への食料品等の発送準備

令和4年第3回定例会では、令和3年度の一般会計をはじめとする各会計の決算が認定されました。また、令和4年度の各会計の補正予算のほか、手数料条例等の一部を改正す

る条例、小・中学校のタブレット更新に係る財産の取得、文化施設整備事業建設工事請負変更契約の締結など、市長提出議案23件すべてが可決されました。

# 健全な財政運営と新型コロナウイルス対策の継続を

## 一般会計決算 財政状況の現状は

問 経常収支比率の減少の要因は。

答 経常収支比率は令和2年度が95・8%と高い値で推移していたが、令和3年度が89・8%と良化している。経常一般財源収入等は市税が約1億円の減となったが、実質的な普通交付税が約17億9000万円の増、地方消費税交付金が約2億1000万円の増となり、総額で約21億の増と、前期比で大幅に伸びたことによるものである。

問 市税の収入未済額と不納欠損額が減少している。その要因は。

答 年度内完納するよう早期着手、早期解決に努め、徴収対策の取り組みを効果的かつ効果的に毎年継続した。その結果、平成22年度から12年連続での減少につながった。

## 収入率の向上と生活困窮者への対応

問 市税の収入率が改善している。その要因は。

答 市税の滞納整理を強化し、徴収対策に取り組んだ結果、収入率は毎年度増加し、99・2%となった。これは埼玉県内順位で40市中第2位と、収入率ともに過去最高となった。

さらに、生活困窮者には法令に定められた納税緩和措置を適用し、納税相談により生活実態を把握する中で、債務整理や生活支援、就労支援などが必要な場合には福祉部門をはじめとした関係部署と連携し、滞納の解決を図っている。

交付金の充当額は。

答 交付金の充当額は全体で約5億3200万円である。

の動向を注視しながら、市民の安全安心な生活に寄与するため、新型コロナウイルス感染症への対応を図っていく。

## 新型コロナウイルス対策への対応

問 新型コロナウイルス対策の実績と新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時

購入や周辺機器の整備などのほか、PCR検査キットを無料で配布した感染症対策事業などである。

- ◆議案に対する総括質疑
- 青藍会 小林 憲人 議員
- 日本共産党 塚越 洋一 議員
- 公明党 鈴木 美恵 議員
- 信政会 鈴木啓太郎 議員
- 会派外の議員 民部 佳代 議員

## 令和3年度 決算の特徴

※万円未満四捨五入

### 歳入 …増減した主なもの

#### 市民税

令和3年度 78億6534万円  
対前年度比 1億2479万円減

#### 固定資産税

令和3年度 67億8538万円  
対前年度比 1298万円減

#### 国庫支出金

令和3年度 109億1966万円  
対前年度比 93億2471万円減

#### 市債

令和3年度 63億6633万円  
対前年度比 36億1976万円増

歳入 決算総額 509億4540万円

前年度対比 10.2%減 (57億8019万円)

歳入歳出差引額 25億2301万円

歳出 決算総額 484億2240万円

前年度対比 10.1%減 (54億5978万円)

実質収支額 19億4061万円

翌年度へ繰り越すべき財源 5億8240万円

### 歳出 …増減した主なもの

#### 人件費

令和3年度 56億7247万円  
対前年度比 1億1396万円増

#### 扶助費

令和3年度 138億7189万円  
対前年度比 26億6275万円増

#### 公債費

令和3年度 40億4999万円  
対前年度比 3486万円増

#### 普通建設事業費

令和3年度 61億9584万円  
対前年度比 12億5487万円増

※端数処理の結果、数値が一致しない部分があります。

# 双子や三つ子の育児を支援

## 母子保健包括支援事業

多胎産婦を対象に着替えやおむつ交換などをサポートする事業です。週に3回かつ1日3時間を上限に利用が可能で、令和3年度の総利用実績は571時間でした。

**問** 周知と利用の流れは。  
**答** 妊娠届出時や赤ちゃんの訪問などの時に周知をしている。産後利用したいという声があれば要望等を聞きながらアセスメントシートを作成し、それを基に委託先の事業者へ依頼する。申請から実際に利用できるまで1カ月程度かかる。

**問** 対象と実績は。  
**答** 対象は12世帯で4世帯が利用した。  
**問** 利用者からの声は。  
**答** 来てもらうだけで安心したという答えが多かった。着替えやおむつ交換など2人のうち1人はやってもらえるので本当に助かったという声もあった。



利用時間が余ったり、逆に少なかったりすることもあるという意見もあったので、本年度は上限を週に9時間にするこで改善を図った。

**わたしもひと言** 私たちは普段は介護の仕事をしているのですが、再度沐浴などの研修を受けた上でサポートに参加させていただきました。産婦さんが大変と思われることは本当に各家庭で様々に変わります。育児を行う大変さを少しでも軽減できればという思いで望みました。



お手伝いをさせていただくことで、私たち自身も多胎の方はこんなに大変なんだということに多く気付かされると同時に、負担の軽減につながる事ができたならば良かったと思います。  
多胎産婦サポーター 伊藤 郁子さん

# コロナ禍での東京2020オリンピック

## スポーツ推進事業

東京オリンピックの聖火リレーのコースにふじみ野市、富士見市、三芳町のコースが選定され、ふじみ野市内を聖火リレーランナーが走りました。

**問** オリンピック聖火リレーの実施内容は。  
**答** 令和3年7月6日に富士見市の公園から市内の東台小入口交差点まで聖火リレーが実施された。

市民も4名参加し、ゴール地点では、みほの太鼓の演奏も実施できて大いに盛り上がった。

**問** 予算化していたオリンピックパラリンピックチケット購入の実績は。  
**答** 市から県に申し込みをし、市として211枚を確保していた。広報



**わたしもひと言** 開会式と閉会式で選手団をお迎えするセレモニーキャストとして参加しました。



コロナ禍での開催で感染症対策の徹底や本番と同じ時間帯でのリハーサル練習で帰りが深夜になるなど大変なこともありましたが、無観客開催ということになり、セレモニーキャストしか各国の選手団をお迎えする人がいなく、自分達しか選手を迎えることができない分、おもてなしの心をもってお迎えしました。

東京2020オリンピック開会式ボランティア活動をした  
おしお ともこ 大塩 智子さん

では2021年6月に申し込みを開始し、多くの人が申し込んでいたが、残念ながら中止となった。

# 空き店舗の新規出店を応援

## 商工業振興事業

商店街の活性化を図るため、市内の商店街の空き店舗を活用する新規事業出店者へ補助を行っています。

**問** 商店街空き店舗対策事業補助金が増となっているが状況は。  
**答** 改修費として上限50万円、家賃月5万円の補助を給付する事業である。緊急事態宣言のために開店を遅らせたたりするなど非常に厳しい状況であったが、3店舗に対して補助を行った。

**問** 空き店舗対策事業を利用したいという人は多くいたのか。  
**答** 相談件数は5、6件あり、条件に合ったのは3件だった。



店内に設置されたシミュレーションゴルフ

**わたしもひと言** 新規出店に対して補助金が出ることを知り、レッスンプロを行っていた経験を生かして駅前を開業しました。改装工事や家賃の補助など開業にあたり資金面や商工会を通じて経営サポートなどの相談など、非常に助かりました。



新規の立ち上げの苦労はありますが、やりたいことの実現に向けて勇気をもって一歩踏み出してみました。大変ですがやりがいがあります。ぜひ皆さんもチャレンジしてみてください。

空き店舗対策事業を活用して新規出店をした 沢田 和弘さん

# ステラ・イーストから魅力発信

## 文化振興事業

市の魅力発信拠点ステラ・イーストにて、市内で活躍するアーティスト等による体験教室や文化講座が開催されています。

**問** ステラ・イースト魅力発信事業の内容は。  
**答** 魅力発信事業として大きく2つに分かれる。ホール事業は、申し込みにより子どもが舞台に出演した「夢と魔法の音楽会」、親子で楽しむ「クラシックコンサート」を実施し、それぞれ1000人を超える来場者だった。

もう1つは、アート系ワークショップで、各部屋の特徴に合った陶芸教室や、ドラムの体験教室などが実施され、8回で400人を超え



マーブリング絵画体験教室

**わたしもひと言** 小学校で夏休み前に配布されたチラシを見て、マーブリング絵画体験ワークショップに申し込みました。マーブリング絵画は1枚1枚違った作品になるので、大人でも楽しめました。子どもたちは工作が好きで自分で書くことも作ることも好きです。子どもたちも「またチャレンジしたい!」と言っています。



(写真左から) 石塚 渚さん 石塚 祥子さん 石塚 恵さん

る参加となり、非常に盛り上がった内容となった。

# マイナンバーカードの普及と活用

## 市民窓口事務

マイナンバーカード発行を進めるため、大型店舗などで出張申請を行いました。また、カードを使いコンビニで住民票などを取得するコンビニ交付も開始しました。

**問** マイナンバーカード普及についてどんな取り組みをしたのか。  
**答** 補正予算を組む前に郵送費から流用し、テスト的にイオンタウンふじみ野でマイナンバーカードの出張申請を行った。300名が申請し、手ごたえがあったのでその後予算を補正した。

また出張申請で記念品を配布したが、市役所の窓口にも非常に多くの人に来て記念品の不足が生じたため、消耗品の予算へ流用した。

**問** コンビニ交付の実績は。

**答** コンビニ交付は令和3年10月からスタートし、当初は全体の1.3%程度と見込んでいた。しかしニーズが



### わたしもと言



マイナンバーカードは前に作りましたが、今日はポイントをもらいにきました。マイナンバーカードのことはよく分からないけど、家族にもつたいないと言われて、電子マネーのカードも作ってきました。いつもは現金しか使わないんですけど。コンビニで住民票も取れるんですか。知りませんでした。子どもがいた頃は住民票を取ることもあったけど、今はありませんね。

マイナポイント支援窓口にて 高橋 孝子さん

非常に高く、令和3年度の実績では住民票の交付率が8.3%、印鑑証明が9.2%であった。

# 振り込め詐欺から市民を守る

## 防犯推進事業

市では65歳以上の人がいる世帯に、振り込め詐欺対策電話機の購入費の半額(上限5千円)を補助しました。この電話機は呼出音が鳴る前に通話を録音することを相手にアナウンスし、詐欺被害を抑制する効果があります。

**問** 補助実績と効果は。  
**答** 令和3年度は95件の申請があった。

本市の被害件数は前年度と比較して4件増加し23件である。県でも56件増加し、全体として増加傾向である。電話機の購入補助のほか様々な啓発活動をしており、4件に抑えられたと認識している。

**問** 被害者の特徴は。

**答** 県警察のデータでは、被害者のうち65歳以上が92.8%。本市の被害者の平均年齢は78.5歳である。

**問** 他に実施した啓発活動は。  
**答** 令和3年度は電話機に貼って注



注意喚起のポップアップフィルム

### わたしもと言



振り込め詐欺の電話は受けたことはないなあ。周囲でも聞かない。パソコンの詐欺メールは届くけど。電話の対策はしてないけど、自分は大丈夫だと思ってる。市から補助が出るのは知ってるけど、わざわざ変えようとは思わない。手続きが簡単なら考えるかな。

入間東部シルバー人材センター作品展にて 矢部 豊さん

意喚起するポップアップフィルムを作成し、65歳以上の単身高齢者世帯に民生委員が配布した。また市内のコンビニエンスストアや金融機関にも配布し、ATM機械などに貼付を依頼した。

# 夏休みに放課後児童クラブで給食を有料で提供

## 放課後児童クラブ管理運営事業

夏休み中には提供されていなかった学校給食が、放課後児童クラブに通う子どもたちに有料で提供されました。今後のサービスの向上について、議論が深められました。

**問** アンケートを行った際、利用して良かったという人が97%だが、設問の内容項目は。

**答** 設問は5つ。1問目は、放課後児童クラブでの給食サービスを利用したかどうか。2問目は、利用したと答えた人に、夏休み中の弁当作りの負担軽減になったか。3問目は、利用した人について、1食当たり350円という金額だが、高かったか、安かったかを聞いた。4問目は、満足度を確認し、5問目は、来年度以降も利用されるかを聞いた。

**問** 良かったという3%の具体的な理由は。

**答** 現金の取り扱いができたので、納付書による



### わたしもと言



上の子が小学1年生です。夏休みの給食は利用しました。楽ですよ、箸やフォークと水筒を持たせるだけなので。夏休みの給食がない時期は、家で食べさせたり弁当を持たせたりしていました。不規則の仕事なので妻と交代で面倒をみました。また来年も利用したいと思います。

亀久保放課後児童クラブの利用者

納付が不便であったということだった。今後改善を検討したい。

# 川越江川の浸水被害を軽減

## 川崎調整池関連事業

平成29年台風第21号及び令和元年台風第19号により、川越江川下流域での内水浸水被害を踏まえ、川越市と共同で浸水被害の軽減を図ることを目的に調整池整備を進めています。

**問** 令和3年度中の進捗状況は。  
**答** 測量業務、土質調査業務及び費用対効果の検討業務を実施した。測量業務は、計画している土地約1.5haの取得を予定していたが、測量の結果1.6haの土地が必要だと分かった。

土質調査は、ボーリング調査などの結果、地下水位が現状の地盤から50cmから1m程度から出てくること分かった。また、30m下に支持層があることが分かったので、そこまで杭を打ち、ポンプ施設等の設備を計画していくこととなった。

費用対効果は、平成29年の台風で発生した浸水被害と同規模の降雨があった場合、調整池の整備でどの位浸水被害軽減が図れるかについて、コストを算定しながら調査した結果、費用対効果が認められる事業であることが分かった。

**問** 調整池整備により浸水被害がどの程度軽減されるのか。  
**答** 令和4年度には、実施設計業務、用地交渉、用地買収を進める。鑑定評価額をもとに、契約が済んでいない土地の取得に向けて交渉を進める。



令和元年台風第19号時の排水作業

# 令和4年第3回定例会の提出議案と審議結果

## ●全会一致で可決した議案

議案番号	議案名	議決結果
第72号議案	令和4年度ふじみ野市一般会計補正予算(第4号)	可決
第73号議案	令和4年度ふじみ野市一般会計補正予算(第5号)	可決
第74号議案	令和4年度ふじみ野市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決
第75号議案	令和4年度ふじみ野市介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決
第76号議案	令和4年度ふじみ野市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	可決
第77号議案	令和4年度ふじみ野市水道事業会計補正予算(第1号)	可決
第79号議案	令和3年度ふじみ野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
第80号議案	令和3年度ふじみ野市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
第82号議案	令和3年度ふじみ野市水道事業会計決算の認定について	認定
第83号議案	令和3年度ふじみ野市下水道事業会計決算の認定について	認定
第84号議案	ふじみ野市手数料条例等の一部を改正する条例	可決
第85号議案	ふじみ野市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例及びふじみ野市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可決
第86号議案	財産の取得について	可決
第87号議案	ふじみ野市道路線の変更について	可決
第88号議案	ふじみ野市道路線の認定について	可決
第89号議案	ふじみ野市道路線の認定について	可決
第90号議案	ふじみ野市道路線の認定について	可決
第91号議案	ふじみ野市道路線の認定について	可決
第92号議案	ふじみ野市道路線の認定について	可決
第93号議案	教育委員会委員の任命について	同意
第94号議案	ふじみ野市文化施設整備事業建設工事請負変更契約の締結について	可決

## ●賛否が分かれた議案

○：賛成 ×：反対

議案番号	議案名	議決結果	青藍会					日本共産党					公明党		信政会		会派に属さない議員					
			坪田敏孝	原田雄一	加藤恵一	小林憲人	山田敏夫	西和彦	大塚守	小高時男	新井光男	床井紀範	足立志津子	伊藤初美	塚越洋一	鈴木美恵	川畑京子	島田和泉	伊藤美枝子	近藤善則	鈴木啓太郎	金濱高頭
第78号議案	令和3年度ふじみ野市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	議長	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
第81号議案	令和3年度ふじみ野市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	議長	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は採決には加わっていません。

## 令和3年度

# 一般会計 決算討論

賛成多数で認定

賛成

コロナ禍でも安定した市政運営を

青藍会 原田雄一 議員

新型コロナウイルス感染症の影響で、当初予算編成時には予見できない状況の中で突発的な危機対応にあたり13回にもわたる補正予算を組み対応したことは、非常に高く評価できる。また、国や県の支援を待たずに必要な事業を即座に実施できたのは、計画的に積み上げてきた基金の活用によるものである。

今後も絶えず変化する新型コロナウイルス感染症への対応など厳しい状況であるが、将来を見据えた安定的な市政運営の継続をお願いしたい。

反対

コロナ対策など市独自策が限定的

日本共産党 塚越洋一 議員

実質収支が19億円、各種基金残高が142億円もあるのに、市独自のコロナ禍対策については限定的な施策展開に止まり、財政出動を集中させることができなかったことは、市行政としての政策的リーダーシップの在り方が問われるところである。

医療・介護・保育・学校などで働く人達への支援の充実など、もっと細やかな暖かな手を差し伸べるべきだった。

予算流用が125件もあり、多すぎるので検討すべき。不用額の扱い方も精査が必要である。

賛成

コロナ対策と学習環境の整備を評価

公明党 鈴木美恵 議員

新型コロナウイルス感染症対策として、地方創生臨時交付金等を活用し積極的な事業が展開されている。

また、GIGAスクール構想用タブレット端末の購入・周辺機器の整備、小・中学校の体育館空調設備設置等工事が実施され、学習環境の整備・確保に加え、災害時の避難所としても安全な機能の向上が図られたことを評価する。

少子高齢化による社会保障関連の経費上昇、老朽化した公共施設の整備事業が続く中、持続可能な行財政運営をお願いする。

賛成

児童発育・発達支援センターの公設化を評価

信政会 鈴木啓太郎 議員

児童発育・発達支援センターの公設化につき、問題を指摘する。第1に法人側に公設化の方針が示されたのは前年の1月で事前協議等もなく口頭での説明で拙速かつ一方的であった。第2に法人が本年3月15日に事業廃止届を提出したのは、児童への影響を最小限にするための苦渋の選択だった。第3に法人との十分な対話の記録や合意の文書を積み重ねない姿勢に疑問が残る。しかし、現状は総合相談を0歳から18歳までの発達に課題がある児童への行政の責任を明確にした点については高く評価する。

賛成

日本製品の積極的選定を

会派外の議員 金濱高頭 議員

市税の収入未済額と不納欠損額の大幅減を高く評価する。歳出では有志の方からの頂いた寄附について、寄附者の意向が反映された使途であったことを決算内容から確認することができた。

市が購入する備品や消耗品について、中国など外国製の製品が含まれていることを確認したが、為替変動への対応や本市で製造された製品が他市で選定される根拠にもつながるので、今後速やかに日本製の製品を優先して選定していただくことを強く要望する。

補正予算  
全員賛成で可決

### 西文化施設を使いやすく 設計変更

令和4年度一般会計補正予算(第4号)

旧大井中央公民館跡地にできる西文化施設の整備工事において、追加の工事が発生したことに伴う費用が計上されました。

**問** 設計変更に伴う追加工事の内容は。  
**答** エントランス部分におけるひさしの拡張に加え、駐車場からエントランスまでのひさしの追加で8500万円を予定している。それに加え、和室の面積については8畳を予定していたが、2部屋を10畳にするため4畳増加する。給湯室については、当初施設全体で1カ所でも、大井図書館敷地内の駐車場についても、大井図書館機能が新施設に移転後、駐輪場を解体し玄関前の整備を行い、50台程度を予定している。

**問** 駐車場の台数については。  
**答** 来年10月のオープンに合わせて、大井総合支所周辺に駐車場用地を1年間、借用する。敷き鉄板及び街灯設置を行い、50台程度を予定している。

**問** あったが、各階に設置するように変更した。  
**答** 現在も行ってるところである。今後にも必要に応じて随時行っていく。



西文化施設整備工事

**問** 近隣住民への説明は。  
**答** 近隣住民への説明は、現在も行ってるところである。今後にも必要に応じて随時行っていく。

補正予算  
全員賛成で可決

### 上福岡図書館をリニューアル

令和4年度一般会計補正予算(第5号)

上福岡図書館は、平成6年に建築されて28年が経過しました。利用者の安心・安全と利便性の向上を図るため、改修工事の設計費用が計上されました。

**問** これまでの利用者からの意見は。  
**答** トイレが暗くて汚い、駐輪場の街灯が暗い、通路側の照明が暗い、椅子や机の汚れなども見られるなどの意見があった。

**問** 改修工事の内容は。  
**答** 屋上の防水工事、外壁及び内装改修に加えて、トイレ、空調設備、自動ドア及びエレベーターなどの設備改修を計画している。また、車いす利用にも対応したバリアフリー改修を予定している。

**問** 改修の日程は。  
**答** 今後、基本設計・実施設計を行い、令和5年10月頃から改修工事が始まる。令和6年7月頃に完了を予定している。

**問** 休館中の図書サービスは。  
**答** 休館中は休館するが、仮設改修工事中は休館する。仮設窓口などを開き対応する。できるだけ



上福岡図書館

**問** 市民への周知は。  
**答** 工事については、周辺の自治組織も含めて周知する。市民に対してはホームページやチラシなどで知らせる。

連載企画  
事業者へ聞く

### 都市近郊農業を継承したい

明治末期から代々続く農家の若い後継者に話を伺いました。



くぼた まさやさん  
久保田 雅也さん

**Q** どのような野菜を作っていますか。  
**A** 約一町歩の畑で枝豆、小かぶ、ほうれん草を作っています。私のところでは作った野菜は地元の農協に出荷

しています。他の農家では市内小・中学校の学校給食の材料として出荷しており、地元野菜の地産地消が進んでいると思います。

**Q** 仕事で困っていることや大変なことを教えてください。  
**A** 最近では台風や局地的な豪雨などの異常気象により、野菜がダメになり出荷できないこと

があります。また、昨年からの原油高の影響に加え、今年は、円安による物価高で肥料、種、ビニール資材や燃料費の費用がかさみ、ここ数年は野菜を作っても赤字が続いていることです。

**Q** 農業という仕事を知ってもらうために実践していることを教えてください。  
**A** 農業委員の家族が小学校で野菜を育てる手伝いをしています。また、子ども食堂の運営のために野菜を提供しています。

**Q** 市へ何かご意見はありますか。  
**A** 担い手が不足していることが課題です。市役所の担当課に専門職員を配置し、相談体制を拡充することが必要だと感じています。



しています。他の農家では市内小・中学校の学校給食の材料として出荷しており、地元野菜の地産地消が進んでいると思います。

**Q** 仕事で困っていることや大変なことを教えてください。  
**A** 最近では台風や局地的な豪雨などの異常気象により、野菜がダメになり出荷できないこと

があります。また、昨年からの原油高の影響に加え、今年は、円安による物価高で肥料、種、ビニール資材や燃料費の費用がかさみ、ここ数年は野菜を作っても赤字が続いていることです。

**Q** 農業という仕事を知ってもらうために実践していることを教えてください。  
**A** 農業委員の家族が小学校で野菜を育てる手伝いをしています。また、子ども食堂の運営のために野菜を提供しています。

**Q** 市へ何かご意見はありますか。  
**A** 担い手が不足していることが課題です。市役所の担当課に専門職員を配置し、相談体制を拡充することが必要だと感じています。

連載企画  
事業者へ聞く

### 子育てしながら在宅で起業

在宅でホームページ制作などを手掛ける  
個人事業主から話を伺いました。



かない かなこさん  
佐藤 かなえさん

**Q** 仕事の内容を教えてください。  
**A** ホームページ制作がメインの仕事です。電話やインターネットで申し込みを受け付けています。基本は対面で気軽に話を伺って、具体的なイメージを汲み取り、2、3週間で制作します。また、アフターサポートも行っています。その他には名刺やチラシの作成も行っています。

**Q** 仕事を始めたきっかけを教えてください。  
**A** 子どもの出産を機に在宅で仕事を始めました。全くの未経験でしたが、インターネットが普及し自由に使えるようになったため、ホームページ制作をやってみようと考えました。

**Q** 仕事でのやりがいは。  
**A** 家族の理解があって仕事を続けられたので、家庭を経済的に支えることができたと思います。お客さんのためにアフターサポートのために訪ねた際に、仕事の評価や感謝の言葉をいただくと、やりがいを感じます。別の仕事を紹介していただいたりすることもあります。

**Q** 大変なことは。  
**A** お客さんの要望に応えるために、深夜まで作業が続くことがあることです。

**Q** 仕事でのやりがいは。  
**A** 家族の理解があって仕事を続けられたので、家庭を経済的に支えることができたと思います。お客さんのためにアフターサポートのために訪ねた際に、仕事の評価や感謝の言葉をいただくと、やりがいを感じます。別の仕事を紹介していただいたりすることもあります。

**Q** 仕事でのやりがいは。  
**A** 家族の理解があって仕事を続けられたので、家庭を経済的に支えることができたと思います。お客さんのためにアフターサポートのために訪ねた際に、仕事の評価や感謝の言葉をいただくと、やりがいを感じます。別の仕事を紹介していただいたりすることもあります。



# 市政を問う！

## 一般質問

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。今回の議会では、16人の議員が一般質問を行いました。掲載した内容は各議員本人が要約したものです。なお、全ての質問と回答は市議会ホームページの会議録で閲覧できます。(11月下旬掲載予定)



### 市内経済の活性化と生活支援

加藤 恵一 議員

**問** 消費活性化クーポン給付事業の取り組みは。  
**答** 11月1日の開始に向けてクーポン券の発送準備を進めている。参加店舗は8月末の時点で284店舗である。12月28日まで追加募集を行う。より多くの方々に利用していただけるように市報、ホームページやSNS等で周知を図る。

### 避難所機能の強化

**問** 総合防災訓練時にペット同行避難訓練をしては。  
**答** 指定避難所ごとのペットの受け入れスペースを含めた避難所運営マニュアルを作成している。



本市としては、講習会や市報などを通じてペットに関する災害時の備えについて周知啓発を図るとともに、ペットを飼っていない人に対して災害時のペットに対する理解促進に努める。



### 一人暮らし高齢者やひきこもりの人への支援策

坪田 敏孝 議員

**問** 一人暮らしの高齢者の居場所を増やすことなど、アウトリーチ型施策の考えは。  
**答** 居場所づくりが必要との声を聞いている。居場所づくりを進めていきたい。

**問** ひきこもりの人への相談サービスについては、周知、広報は。  
**答** 関係課や民生委員などからの情報をもとにアウトリーチ対応をしている。相談窓口として福祉総合相談センターがあり、周知をしていきたい。

**問** 不登校の児童生徒の数と出席認定を受けている数は。  
**答** 令和3年度の不登校は小学生が66人、中学生が130人である。そのうち出席認定を受けている小学生は3人、中学生は11人である。

### 事業者の付加価値の向上を

**問** サービス業の付加価値を上げる市独自の支援策は。  
**答** デジタル化のセミナーや情報発信を商工会と連携して図っていく。



福祉の相談窓口「よりそい」(市役所2階)



### マンホール広告で収入確保を

民部 佳代 議員

**問** 所沢市では下水道料金の値上げを抑えるためマンホールに広告を掲載し、昨年度約770万円の収入となった。本市の取り組みは。  
**答** 広告ではないが本市と埼玉西武ライオンズの連携をPRするマンホールがある。広告事業は他自治体の動向を注視し研究する。

会人を選任できることになった。投票立会人を公募しては。  
**答** 課題は認識している。他自治体の状況を参考にし、調査研究する。

**問** 立会人の報酬は時給換算で県の最低賃金を下回る。見直しの予定は。  
**答** 報酬は国の基準より高いが、妥当性について調査研究する。

### 学校プールの老朽化への対応



### 選挙の投票立会人を一般公募に

**問** 町会・自治会関係者から投票立会人の負担が大きくなり手がないと聞く。公職選挙法が改正され、有権者であれば居住地に関係なく投票立

**問** 大規模修繕、更新が必要になった場合の対応は。  
**答** 一番古いもので建築後55年経過、再整備が必要な時期にきている。再整備には1校当たり3億円前後が見込まれる。改修費用や維持費を考え、令和5年度から民間プールを活用した授業のモデル実施を検討している。



### チャドクガの被害防止

金濱 高顕 議員

**問** 市内でチャドクガの被害が増加している。チャドクガは危険性が高いにも関わらず、身近な場所にも生息していることから、被害防止のために市ホームページに対処法等を掲載してどうか。  
**答** 対処法等を掲載したページを作成した。

よる被害が市内でも確認されている。市内事業者の保護も含めた対応が必要と考えるが市の認識は。  
**答** 本市でも被害相談件数が増加している。市民の被害を減らすだけでなく、市内事業者の信頼を保持することやトラブルを回避するために取り組みを行っている。

### 給湯器破裂 リスクの周知



市ホームページ注意喚起  
**問** 給湯器が故障した場合、半導体不足により現在も納期に遅れが出ている。市民生活に与える影響も大きいことから、破裂リスクの周知が必要では。  
**答** 毎年度実施している水道管の凍結防止の注意喚起と併せて、広く啓発に努めていく。

**問** 電気や電話業者を装い、高所から危険個所が見えたなどと声掛けを行い点検を促す点検商法に

### 点検商法への注意喚起

**問** 大井弁天の森の改善計画は。  
**答** 特別緑地保全地区を拡大し、令和3年度から5年間で区域内の土地を買収し、更なる



### 自主防災組織への支援

鈴木 美恵 議員

**問** 全ての自主組織に設置され、地域防災の要である自主防災組織への支援は。  
**答** 資機材整備や地区防災計画作成等に対する補助金制度や職員による防災講話を実施している。

また、県の制度を活用した自主防災組織リーダー養成指導員及びイッモ防災インストラクターの派遣による災害図上訓練や避難所運営体験訓練などが実施されている。

**問** 公園整備と開発の改善計画は。  
**答** 特別緑地保全地区を拡大し、令和3年度から5年間で区域内の土地を買収し、更なる



大井弁天の森



### 高齢者見守り支援の更なる充実を

川畑 京子 議員

問 市民から休日や夜間などに支援が求められた場合の対応や関係機関との連携は。

答 閉庁時間に電話があった時は警備室につながり、緊急性のあるものは担当課へ連絡される。緊急支援が必要な場合には、ケースワーカーなどの職員が警察・消防など、関係機関と連携し対応している。

問 位置検索GPSや認知症高齢者等早期発見ステッカーの見直しは。

答 現在は位置検索サービスの種類や方法も増えている。事業内容の見直しの必要があり、検討を進めていく。

また、ステッカーについても、記載されている二次元バーコードを読み込むと、東入間警察署の電話番号の表示が可能か調整・検討していく。

問 本市における多くの施設では、前納した使用料は原則として還付していない。キャンセルの使用料を還付すれば安易なキャンセルを招き他の利用者の利用機会が減少しかねない。これらを勘案して還付すべきか否か、研究を重ねたい。



### 合併特例債の用途は

近藤 善則 議員

問 合併特例債の発行可能限度額は約29.4億5100万円となる。この内約21.3億8100万円を公共建築物の更新整備に充てた。

問 都市計画道路、市道、開かずの踏切対策に使用したか。

答 都市計画道路や市道などについては、合併特例債を活用したものはない。

また、上福岡駅の南側の踏切対策にも合併特例債は活用していない。

### 市民に優しい公共施設利用を

問 予約をキャンセルしたときの使用料は、予約者に還付すべきではないか。



### マスクをつけられない人への配慮を

問 健康上の理由などから、つけられない人がいる。

答 意思表示や理解を求め、意思表示カードを作成し、配布している。

問 周囲から冷ややかな目で見られたり、心無い批判を受けられないよう、他の自治体の先行事例を参考にし、意思表示カード等の作成について早急に対応していく。



意思表示カード



### 障がい児(者)支援の充実を

伊藤 美枝子 議員

問 支援籍学習の考え方及び通常学級に在籍する児童・生徒が、特別支援学級で学習することは。

答 障がいの有無に関わらず、可能な限り共に学ぶ機会の拡大と障がいのある児童・生徒の自立と社会参加の支援に重要である。通常学級の児童・生徒が特別支援学級で学習することは可能となっている。

問 全教員が採用後10年程度の間、特別支援学級等の担任経験を2年以上積むことが望ましいと国は示しているが市の考えは。

答 特別な支援を必要とする児童・生徒は年々増加傾向にある。全教員が特別支援教育の理解を深め専門性を高めることは重要。長期的

な視点で計画的に育成・配置できるように国・県の動向を注視する。



障害がい者総合相談支援センター「りあん」

問 障がい者総合相談支援センター「りあん」の取り組みは。

答 一般的な相談と就労相談支援の充実や関係機関と連携し、障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らすために地域全体で支えあう仕組み作りを取り組む。

問 居場所（フリースペース）の設置は。

答 活動できる場所や居場所づくりは必要であると考えている。



### 学校給食費や水道料金の免除

伊藤 初美 議員

問 長期化するコロナ禍で市民生活が大変だ。今年度、近隣市で実施している学校給食費の無償化や水道料金の基本料金免除をすべきでは。

答 現在、実施する予定はない。感染状況や経済状況、国や県の動向を見ながら効果的な施策については積極的に実施していきたい。

### 生理用品の学校トイレへの設置

問 生理の貧困問題の対策として、保健室配布のみでなく、学校のみでなく、学校の個室トイレへの生理用品設置が必要ではないか。

答 保健室で養護教諭が直接児童・生徒に対応することで、実態を知ることができると。また、生理用品の管



ふじみ野市平和都市宣言文

理・衛生面に課題があるため、現行のままとする。

問 市内外に宣言の思いを発信するために、市役所庁舎に平和都市宣言の懸垂幕設置を。

答 宣言当初の平成22年には本庁舎と支所に懸垂幕を掲げていた。庁舎建替えや汚れにより、現在、懸垂幕は使用していない。平和事業のチラシ等でアピールしていきたい。



### 地域の防災、環境に有効な都市農業を守る

鈴木 啓太郎 議員

問 都市農地の持っている環境保全、防災など多面的機能をまちづくりに生かし、地域の理解を進めては。

答 都市農業の有効な機能を保全するため、まずは農地の利用状況及び所有者の意向状況を把握するとともに、他市の取り組みを注視し、状況に応じて補助金等の支援を検討していく。

### マンション管理計画に積極的に関与

問 改正マンション管理適正化法では、自治体が関与できるという仕組みが変わったが対応は。

答 マンションの老朽化を抑制する維持管理の適正化のため、個々の管理計画を認定する制度が新たに講じられた。本市では第2期ふじみ野市空家等対策計画に組み込む予



定で、令和5年度以降にアンケート等を実施したい。

問 児童発達・発達支援センターの今後の役割は。

答 発育、発達に不安のある児童のライフステージに沿った形で、0歳から18歳まで地域の保健、医療、福祉、保育、教育等の関係機関と連携を図り、切れ目のない円滑な支援が提供されるよう努める。



### 水害を想定した支援と水害避難訓練の実施を

床井 紀範 議員

問 水害を想定した行政支援は。

答 水害が想定される区域では水防訓練の支援や防災講話の実施のほか、自治組織に職員が出向き、地区防災計画の策定支援を行っている。

問 市民との協働による水害の避難訓練を。

答 今年度の総合防災訓練において、一部の指定避難所では水害避難の周知、啓発を行う。避難所で温かい食事を提供できないか。配布と廃棄の方法に課題がある。

問 長期避難になった場合には炊き出しで対応するのか。

答 その通りである。

### 放課後児童クラブへのWiFi整備を

問 長期休暇の際にはタブレット端末を使って学習する機会が増える。WiFi環境の整備が必要ではないか。



Wi-Fi

### こども医療費助成制度の拡充

問 こども医療費について、入院・通院ともに18歳まで拡大すべき。子育てするならふじみ野市として、子育て支援施策の政策的な柱として位置付けを。

答 現時点では考えていない。



### 民生委員の確保と 処遇の改善を

新井 光男 議員

問 民生委員の活動に見合う処遇の改善をすべきでは。

答 活動費の額は既に見直しに向けて着手している。

問 人材確保に向けた対応は。

答 民生委員は市民において重要な役割を担い、成り手の確保に向けて、周知・啓発に努めて地域の協力を得ながら進める。

### 物価高騰から市民生活を守る支援

問 保育、幼稚園、障がい者及び高齢者施設の光熱費や給食費などの支援は。

答 高齢者や障がい者に

対して、質の高いサービスを継続するために、支援の必要性は感じている。介護サービス及び障がい福祉事業所などへの支援は検討している。

### 原油高騰・円安から事業者を守る支援

問 介護や障がい者など施設の送迎車両の燃料代の支援は。

答 原油価格の高騰により、厳しい経営状況に直面していることは認識している。事業継続に不可欠な、車両の燃料代の高騰に対する支援の必要性は感じている。支援の検討は開始している。



### 国葬への市の対応

塚越 洋一 議員

問 市民への強制はあつてはならないと考える。

答 法律に根拠のない国葬への学校・市役所・公共施設での対応は。

問 現段階においては、特別の対応をすることは考えていない。

### とうじなる公民館分館

問 公民館廃止後の分館の条例上の位置付けと、管理・費用など市の責任及び個人責任についての見解は。

答 条例制定の予定はない。市が所有する公有財産としてこれまでと変わりなく管理する。日常の運営と維持・管理については、引き続き自治組織等の協力を得ながら進める。法人格のない団体の個人責任が生じることはない。



### 2050年ゼロカーボン に向けての施策

足立 志津子 議員

問 市の目標における現時点の達成状況と、最終目標達成に向けた市民への支援内容は。

答 現時点は達成が見込まれている。太陽光発電装置などの設置補助を検討している。

### 新河岸川沿い緑地公園斜面林の崩落防止

問 河川管理者の県と協議し、自然林との調和を重視した崩落防止対策を。斜面林は市の管理なので、県とも協議し行っていく。



公園斜面林の崩落防止

### 保育所・学校等の 新型コロナウイルスへの対応

問 学校などで発熱した場合の対応を、保護者に理解しやすく伝えるべきでは。

答 感染症の対応については、市ホームページや保健所などで案内している。引き続き分かりやすく情報発信していく。

### 市立資料館の 建設計画

問 来年から大井郷土資料館は常設展示がなくなる。老朽化した上福岡歴史民俗資料館を含めて市立資料館の建設計画はあるのか。

答 新たな資料館建設計画はない。  
資料館全体の在り方は、今後、検討する。



### 専門職ボランティアで 地域課題の解消を

小林 憲人 議員

問 専門的知識や経験に基づき、公共的なボランティアを行う、プロボノを活用する自治体が増えている。活用は。

答 地域活動の拡大や活性化につながると考えるが、支援対象団体が特定分野に限られる。今後、導入の可能性を研究する。

### 働き方の変化に 応える要件設定を

問 保育の必要性の認定に際し、月64時間勤務を最低基準に置き、週3回、週4回といった勤務回数に要件としない自治体が多くある。要件の見直しを。

答 保育所利用申請や待機児童の状況を考慮すると、週3日の人は一時保育が利用できる。要件の見直しは少し時期が早いと考える。



こどもの未来をはぐくむシンポジウム

### こどもの主体的な 活動を奨励し形に

問 こどもの未来を育む条例に掲げる内容の実現には、こどもが主役の会議体の設置が必要では。様々な観点から精査し、研究していく。

### 認知症高齢者に 理解あるまちに向け

問 市として、認知症施策推進宣言を。  
答 認知症施策を更に推進していくための方策として、研究していく。



### 交通指導員の配置を

原田 雄一 議員

問 毎年通学路が変更となる中で、国道254号バイパス交差点に交通指導員の配置が必要では。

答 交通指導員は、信号機の無い横断歩道、危険な交差点、車両交通量の多い箇所等に配置している。

### 期日前投票所を 大型施設へ

問 投票所の増設、期日前投票所の大型施設等への設置は。

答 1投票区の選挙人数は、おおむね3千人と示されている。投票区間の有権者数の平準化のため、投票区の見直しを進める。また、期日前投票所については既に導入した自治体を参考に調査研究していく。



交通誘導員による安全対策の実施

問 農業者への助成政策は  
コロナ禍における農

問 市民への強制はあつてはならないと考える。

問 歩道と車道を分けている縁石の端を見やすくすべきでは。  
答 市では反射板の設置や黄色に塗るなど対応している。



踏切の安全対策

### 踏切の安全対策

問 人身事故が多い東上線の踏切に、高性能検知装置の設置を東武鉄道に要求すべきでは。  
答 現在実証実験中であり、現段階で導入は未定とのことである。

### 緑石の端を見やすく

問 歩道と車道を分けている縁石の端を見やすくすべきでは。  
答 市では反射板の設置や黄色に塗るなど対応している。

## 公園・学校・公共施設の安全点検結果報告

公共施設安全点検は、16年前の大井プール事故を風化させないため、毎年7月31日を公共施設安全点検の日と定めて取り組んでいます。これらの点検結果が議会に報告されました。

総務・教育常任委員会 権現山古墳群史跡の森でカシノナガキクイムシによるナラ枯れ被害が発生したので倒木の恐れがある、大径木も含めて81本中新たに32本の樹木に被害が確認された。安全点検実施期間外で行った修繕についても、点検結果及び修繕内容を報告すべきと指摘した。



ナラ枯れ

### 9月議会に伐採費用等が 補正予算として計上

○権現山古墳群	539万円
○聖路加テニスコート	約203万円
○市民憩の森	約2129万円

市民・都市常任委員会 市民憩の森と聖路加テニスコート敷地内に、ナラ枯れ被害が発生したので休園とした。年度内の再開をしたいということが確認できた。

チェック!

編集委員が  
インタビュー！

表紙：働く人シリーズに寄せて

## 庭師さんに伺いました

Q どのような仕事をしていますか。

A 造園業に分類されますが、自分の仕事は個人宅の庭を中心とした仕事です。直接お客様とお話ししながら、喜んでいただけることがモチベーションにつながっています。

Q 資格などはありますか。

A 資格がないことによって開業できないことはありませんが、造園技能士を所持しています。

Q チャレンジしてみたいことはありますか。

A 小さい空間で、メダカなどと共生できる坪庭のような癒しの空間を創出してみたいと思っています。

Q 庭師に仕事をしてもらう利点は。

A 炎天下の中・蜂や毛虫など、危険と隣り合わせな部分も多いため、定期メンテナンスも任せることにより、体力面・金銭面・時間的に

も、有効に使えるようになります。

Q 印象に残ったこと、嬉しかったことは。

A 作業後にうちの庭はこんなに明るかったんだ、広がったんだと感動してもらえたことが印象に残っています。

仕事である以上報酬を受け取りますが、お金というよりもお困りごとを解決した感謝状を受け取っているような気持ちで仕事に取り組むよう心がけています。ありがとうございます。一番うれしいです。

さくま たいさん  
佐久間 颯さん

市議会だよりは、ふじみ野市のホームページからも閲覧できます。  
市議会の会議録も見られます。  
録画放映や SNS もご覧ください。

ふじみ野市議会

検索



9月定例会の傍聴者は 41 人でした。

次の定例会の  
開会 予定：11月30日 午前9:30～

請願締切 予定：11月18日 午前10:00

市役所 4 階議場で開催します

## 議会広報常任委員会

委員長	加藤 恵一	副委員長	鈴木 美恵
委員	鈴木啓太郎	委員	金濱 高顕
委員	民部 佳代	委員	新井 光男
委員	床井 紀範		

表紙の題字を書いてくれた人  
花の木中学校 3年 佐藤 勝太さん

ふじみ野



僕が熱中していることは、部活動で行っていたバレーボールです。ふじみ野にはバレーボールをする施設が多く、たくさんの方々を支えられながら楽しくプレーをすることができています。一流のバレーボール選手になれるよう精進していきます。

## 編集後記

前号より「事業者に聞く」という連載企画が始まりました。これは市議会が上程し可決・成立した「ふじみ野市中小企業及び小規模企業振興基本条例」が本年 4 月 1 日に施行されたことをきっかけに始めた企画。中小事業者や個人事業主がどのような課題を抱えているか、行政に何を期待しているか、議員が足を運び、直接話を聞いてこようという試みです。

本定例会では、複数の議員からインタビュー内容に関連した一般質問も行われました。市民に代わって課題解決や要望を市に伝え、制度を変えたり新たな施策を提案するのが市議会の役割のひとつ。「議会だより」が市民と議会をつなぐコミュニケーションツールとなるよう、これからも対話を重ねてまいります。

(民部 佳代)

市議会議員による時候のあいさつ状、寄付行為等は、法律で禁止されています。ご理解をお願いします。